



序章 本稿の叙述と構成（第二部：第四編 学校法人日本体育会経営の幼稚園と専門学校の沿革）

| | |
|-----|---|
| 著者 | 日本体育会百年史編纂委員会 |
| 雑誌名 | 学校法人日本体育会百年史 |
| ページ | 1282-1283 |
| 発行年 | 1991-10-28 |
| URL | http://id.nii.ac.jp/1444/00001097/ |

第
四
編

幼稚園と専門学校の沿革
学校法人日本体育会経営の

序章 本稿の叙述と構成

本稿では学校法人日本体育会が経営する学校のうち、日体幼稚園と日体柔整専門学校を取り上げる。そこでまず日体幼稚園が誕生するまでの経緯を点描し、次いで日体柔整専門学校の歩みについて触れておくことにしたい。

本会の幼稚園教育の歴史は古く、大正八年の東京府荏原郡大井町に大井幼稚園の開園まで遡る。その後、昭和六年には荏原郡六郷町字雑色の日本体育会体操学校女子部のキャンパス内に六郷幼稚園を開園させた。そして、昭和十五年、日本体育会体操学校が世田谷区深沢に移転するのを機に、大井幼稚園と六郷幼稚園を譲渡・廃園して、今度は深沢の地にあつたひなづる幼稚園を買収して幼稚園経営の継続を試みている。しかし、この年、本会は社団法人から財団法人へと改組し、往時の勢いを取り戻しつつあつたが、戦争状態に入りつゝあつたことから、幼児のための教育の再開（＝幼稚園経営）を先き送りすることとなつた。戦後、本会は日本体育専門学校を茨城県土浦に移転させ、この地で専門学校を新制大学へと昇格させた。そしてこの大学を世田谷・深沢に復帰させてから、深沢の地に日本体育大学女子短期大学を設置するとともに、幼稚園経営を再開する。昭和三十年、本会は日本体育会あさひ幼稚園を開園させ、昭和三十二年には日体幼稚園と改称させた。ここに日体幼稚園という名称の下での本園の歴史がはじまり、今日にいたつてあるわけである。

いっぽう、昭和四十八年、日本体育会は柔道整復師養成機関として厚生省認可の日体柔整専門学校（夜間部）を世田谷・深沢の日本体育大学キャンパス内に設置した。当初、この専門学校は二年課程であつたが、昭和五十九年

に修業年限が二年から三年へと延長され、さらに昭和六十一年に文部省管轄下の専門学校へと改組されている。ともあれ本校は改組・転換を経験しながら、教育の中身をより一層充実させ、柔道整復師になるための国家試験では高い合格率を誇るにいたっているといえよう。

以下において、日体幼稚園の沿革を第一章で、日体柔整専門学校の沿革を第二章で取り上げ、概観しておくことにしたい。

日体幼稚園



園歌

磯 瑞代 作詩
小田 紀子 作曲

一、両手を振って胸はって

お日様みながら歩きます

きょうも元気で一、二、三、

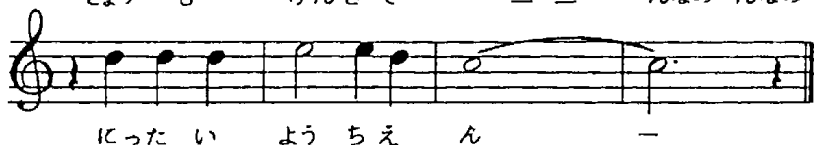
みんなのみんなの日体幼稚園



りょうてをふって むねはって おひさまみながら あるきます



きょうも げんきで 一二三 みんなのみんなの



いったい ようちえん

二、みんな輪になり手をつなぎ

声をそろえて歌います

きょうも元気でドレミファソ

みんなのみんなの日体幼稚園

三、つよい子、よい子、やさしい子

何でもがんばる子どもです

きょうも元気でジャンピング

みんなのみんなの日体幼稚園